

地域防災力の向上

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第21回の今日は、「地域防災力の向上」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： まず、「平成30年7月豪雨」と命名された西日本の豪雨災害では、多数の死者、行方不明者が発生するなど甚大な被害に見舞われました。

市長： 西日本の豪雨災害では多くの方が犠牲になられたということで、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、被害を受けられた方々とそのご家族の皆様にお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。三島市においても、これまでに被災地の広島県呉市に延べ4人の職員を派遣し、現在も被災地の支援にあたっているところであります。

アナ： まさに自然の恐ろしさを見せつけられた災害であったわけですが、三島市ではこのような風水害に対しどのような対策をとっているのですか。

市長： 三島市では、平成27年の2月に、いざというときの情報収集や避難行動をわかりやすく解説した、市民向けの「風水害時の市民避難行動マニュアル」を作成しました。このマニュアルには、避難情報、避難行動のほか、平常時に実施しておくべきことや浸水想定区域、及び土砂災害警戒区域の指定緊急避難場所、要配慮者利用施設名なども掲載しております。

アナ： 「風水害時の市民避難行動マニュアル」を作成されたとのことですが、市内の避難対象の住民と避難場所はどのようになっていますか。

市長： がけ崩れや土石流の危険がある土砂災害警戒区域が市内に87箇所、狩野川、大場川が決壊、越水した場合の浸水想定区域となっている自治会が市内に11自治会あります。避難勧告などが発令されると、市内の小中学校や地区の公民館などが指定緊急避難場所となります。

アナ： なるほど、避難対象となる区域には、「土砂災害警戒区域」と「浸水想定区域」があるというわけですね。いざという時の避難行動に「水平避難」と「垂直避難」があると聞きますが、これはどのような避難行動なのでしょう。

市長： 「水平避難」というのは、指定緊急避難場所などへの避難が困難な場合に、今いる場所から近くの強度の高い建物などへ移動する立ち退き避難です。もう一つの「垂直避難」というのは、今いる建物内の上の階へ移動することにより安全を確保する避難となります。

アナ： 次に、避難勧告など避難情報の種類にはどのようなものがあるのでしょうか。

市長： まず、市から避難情報が発令されていない場合でも、「自らの命は自ら守る」と

いう心構えで、身の危険を感じたら速やかに自主避難することをお願いいたします。市から発令される避難情報には3種類あり、災害の切迫性が低いほうから、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示（緊急）」があります。

「避難準備・高齢者等避難開始」は、高齢者、障がい者など避難に時間のかかる方が立ち退き避難を開始し、その他の方は避難の準備を行います。

「避難勧告」ではすべての方が立ち退き避難を行います。避難所への移動がかえって危険と判断される場合には、近隣の安全な場所への避難や屋内での安全を確保します。

更に、災害の切迫性が一番高いのが「避難指示（緊急）」です。立ち退き避難中の方は、確実に避難を完了させます。まだ立ち退き避難をしていない方は、ただちに避難行動に移るとともに、その行動に取りかかる時間的余裕のない場合は、生命を守る最低限の行動をお願いします。

アナ： 避難情報の種類についてよくわかりました。では、これらの避難情報はどのような手段で確認できますか。

市長： 避難情報の伝達ルートは3つあります。一つ目は、市から避難対象の自治会長さんへ電話連絡し、自治会長さんは組長や防災委員へ連絡して住民へ伝達するルートです。二つ目は、声の広報、ラジオ、市民メール、携帯電話への緊急速報メール、テレビなどで住民へ伝達します。三つ目は消防団から住民へ声の広報、戸別訪問するルートになります。一番大切なことは風水害時には、テレビ、市民メール、防災ラジオなどで自ら積極的に情報を取りに行くことであり、その積極的な行動が自らの命を守ることに繋がります。

アナ： では、最後にお伺いしますが、普段から風水害時の対策としてできることはどのようなことがありますか。

市長： そうですね。まず、自分の住んでいる地域の危険箇所については被害予測図である「ハザードマップ」で確認し、また避難場所については「防災マップ」などで確認しておくことです。また、避難場所までの経路をご自分の目で確認していただいて、どこが危険箇所なのか知ること大事なことです。7月の豪雨であらためて確認されましたのは、「自らの命は自ら守る」こと、そして「自らの地域は皆で守る」ことの大切さであると考えます。市民の皆様の生命・身体・財産を守るためには、市役所だけでなく、皆様と力をあわせて、防災・減災対策に取り組んでいきたいと考えています。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。